

自分たちの住むまち・むらのよさをを見つけよう

～五感を使って調べよう～

中学年程度

季節：年間

時間：4～6時間

-  五感を使って、自分たちの住んでいるまち・むらの気に入った（特色のある）風景を探してみましょう。
-  自分たちの住んでいるまち・むらの特色は、自然や社会の環境とどんな結びつきがあるか考えてみましょう。

さあはじめよう （進め方）

- 1 どんな風景を撮ったり描いたりするかを決めます。（風景・音・かおり・歴史など）
- 2 テーマごとのグループに分かれて、お気に入りの風景を探しに出かけます。
- 3気に入った風景や音、かおりなどを見つけたら、ワークシート1に記録します。
様子がよく分かるような写真を撮ったり、スケッチをしたりしておきましょう。



準備

用意するものは

- ワークシート1
- カメラ（デジタルカメラ）
- *ビデオカメラでもよい
- *録音のできるもの
- 筆記用具
- バインダー
- 色鉛筆など（絵を描くもの）

活動の場所

自然の景色が美しい所
自然や野鳥などの奏でる音が聞こえる所
草や花などの香りが漂う所
歴史を感じさせる街並みなどがある所
くらし（農林水産業や工場・お店など）の音やにおいがする所
自分たちの地域でしか食べられない果物や野菜がある所など、いろいろな場所を見つけてみましょう。

4 見つけてきたお気に入りの中から、ご自まんの風景を選んで、ワークシート2などにまとめて発表しましょう。

5 自分たちの住んでいるまち・むらには、どんなよさ(特色)があるか、みんなで話し合ってみましょう。

「自まんのかおりベスト3」とか「まちの自まんベスト5」などを選んでみると、自分のまち・むらのよさ(特色)がはっきりするでしょう。



発展

1 自分たちの住むまち・むらのよさ(特色)がよく分かるパンフレットや紹介マップなどを作ってみましょう。

2 まち・むらの様子は、春・夏・秋・冬で違いますね。それぞれの季節にお気に入りの場所見つけてマップなどにまとめておく活動をすると、季節の変化と私たちの暮らしとの関係が深いことを見つけることができます。

季節が違くと、
風景もいろいろ
変わるんだね。



夏ごろの三瓶山(大田市)



冬の三瓶山(大田市)

資料

1 豊かな自然の恵みを感じさせる風景



棚田の風景（柿木村）



夕日の美しい風景（五箇村）

2 歴史の薫りが漂う風景



大森のまち並み（大田市）



干し柿が並ぶ風景（東出雲町）



美保関のまち並み（美保関町）



出雲平野の築地松（出雲市）

資料

3 香りの伝わる風景



干しイカの香りがする風景



醤油の香りが漂う風景（松江市）

4 音の伝わる風景



ウミネコの鳴き声が聞こえる風景（大社町）



桜の香りが伝わる風景（木次町）



石を細工する音が伝わる風景（宍道町）



シジミの音が伝わる風景（松江市）



お気に入りの風景を探そう

調べた日	年 月 日 ()	テーマ	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	

見つけたもの	場 所	写真または 絵の番号	コ メ ン ト (気がついたことや感想)



ご自まんの風景を紹介しよう

調べた日	年 月 日 ()	グループ名	
------	-----------	-------	--

写真や絵を貼りましょう。

写真や絵の題	
--------	--

自まんに選んだわけ